

# 令和5年度第2回函館方面森警察署協議会議事概要

## 1 開催日時・場所

- ・ 令和5年9月29日（金）午後1時30分から午後3時10分までの間
- ・ 函館方面森警察署 会議室

## 2 出席者

### (1) 協議会委員 4名（定員6名）

- ・ 会長 蛭沢 彰 則
- ・ 副会長 高橋 恵 子
- ・ 委員 根本 あけみ
- ・ 委員 小森 昭 彦

### (2) 森警察署員 5名

- ・ 署長 馬場 恵 吾
- ・ 副署長 佐々木 茂
- ・ 刑事生活安全課長 小澤 豪
- ・ 地域交通課長 和泉 慎太郎

## 3 協議会会長挨拶

## 4 警察署長挨拶

## 5 警察署長による警察活動の概況説明

署長から令和5年8月末現在の刑法犯認知・検挙状況、交通事故発生状況、警察相談受理状況等について説明があった。

## 6 懲戒処分事案の説明

署長から懲戒処分事案の状況について説明があった。

## 7 協議事項

### (1) 令和5年度第1回森警察署協議会における意見に対する回答

ア 交番等ミニ広報紙コンクールに対する意見等に対する反映状況について地域交通課長からの説明

#### (ア) 各交番等作成のミニ広報紙に対する採点結果について

→ 委員からの採点結果を受け、成績優秀者に対し警察署長賞を授与し士気高揚に活用させていただいた。

#### (イ) 字体が小さく文字量が多く読みづらい

→ 委員から字体が小さく文字量が多いとの意見が多かったため、記事を3トピック程度に納めて紙幅を確保し、文字を大きく、イラストや写真を多用するように改善しました。

#### (ウ) カラー印刷をしてはどうか

→ 予算の関係上今後も白黒印刷にせざるを得ないところですが、代替案として、白文字等を効果的に活用するように改善しました。

#### (エ) QRコードを掲載してはどうか

→ 全世代対象の内容のため、QRコードの掲載はしていなかったが、今後高い効果が見込める若年層向けの資料発行を中心に積極的に掲載を検討させていただく。

イ 本回答を受けて委員からの意見

- ・ 新たな手法を取り入れたミニ広報紙を見て、一番に目が向いたのは見出しです。
- ・ 直ぐに見出しに目が行き、圧倒的に見やすくなったと感じました。
- ・ 以前の広報紙と比べて大変見やすいものに改善されたと感心しました。
- ・ 今後も、見やすくて分かりやすいミニ広報紙の作成をお願いします。

(2) 刑事生活安全課長から、本協議会における協議事項である「刑事警察の活動（窃盗事件の現状と防犯対策）」に関して、映像と資料を使用して説明があった。

(3) 質疑応答等

○ 協議事項について

- ・ 委員 窃盗に対する防犯対策ビデオを拝見し、印象に残ったのは防犯カメラ等の活用で「泥棒は記録や記憶が嫌いだ」という部分で、大変参考になりました。  
犯人には、色々な特徴があるんだと知り、とても興味深く聞かせてもらい、私達にはとても遠い世界の話だと思っていましたが、その一部だけでも知ることができてとても参考になりました。
- ・ 刑生課長 侵入窃盗被害は他人事ではなく、いつ被害に遭うか分からないので、用心に越したことはありません。  
補助錠やセンサーライト等のような防犯対策を講じることもとても有効なことです。
- ・ 委員 随分以前に車上ねらいの被害に遭ったことがあります。今回説明を受けて、泥棒を捕まえることは大変な事なんだと分かりました。
- ・ 刑生課長 ここ最近では当署管内での車上ねらい被害の申告はありません。  
車上ねらい被害では、無施錠の車から物を盗まれるばかりではなく、最近ではガラスを割ってでも盗むという手口が多くなっています。  
これは、外からバッグなどが置かれているのが見えるので、ガラスを割ってでも盗んでいくのです。  
まず、車内には貴重品等を置かないことが大原則だと言えますが、バッグなどを見えるところに置かないのも防犯対策となります。  
バッグなどは、トランクや後部座席の足下など外から見えない、あるいは見えづらい場所に置く方が防犯対策になるものと思います。
- ・ 委員 窃盗の犯罪の重さは盗んだものによって違ってくるのでしょうか。
- ・ 刑生課長 被害金額や、犯人の犯歴によっても変わってくるものと思われます。
- ・ 委員 窃盗犯の再犯率というのはどのくらいの割合なのでしょう。
- ・ 刑生課長 再犯率という数字は出していませんが、決して低いとは言えないと思います。  
空き巣等の侵入窃盗犯は同じ犯罪を犯している者が多いと思われます。
- ・ 委員 窃盗犯と出くわしてしまった場合の対処法などはありますか。
- ・ 刑生課長 窃盗犯と出くわした際に、反撃されるなどの暴力的被害に遭うのが一番恐怖を感じる部分だと思います。  
とにかく、逃げるなど避難してもらうのが一番です。  
犯人は凶器を持っているかもしれませんし反撃してくるかもしれません。  
反撃などの二次被害を防ぐ事を優先して下さい。  
でも、なるべくならその場で110番通報してもらいたいです。  
そして、余力があるのなら犯人からある程度距離を置いて目を離さない

さず、犯人が逃げていく方向や人相着衣などの特徴を覚えてもらい、情報提供していただきたいです。

- ・ 委員 侵入盗は本当に怖いと感じています。  
被害品は現金ばかりが多いのか、現金以外の被害品は何か多いのでしょうか。  
また、住宅の外観の防犯対策は理解できましたが、万が一侵入された場合、室内側の対策で有効なものはありますか。
- ・ 刑生課長 やはり、被害品で一番多いのは現金ですが、現金以外では、時計宝石等の貴金属製品が多いです。  
室内での防犯対策では、財布や貴金属は目につく所に置きっぱなしにしないという事が一番だと思います。  
また、万が一盗まれてしまった場合に備えて、製造番号や保証書をきちんと保管管理しておくのが何より一番だと考えています。  
犯人によってはリサイクルショップに売却して現金化する者もいますので、製造番号等が判明していることが有効となってきます。
  
- ・ 委員 室内側の防犯対策で、以前「明るい色のカーテンを使えば被害に遭いにくい」と何かで知ったのですが実際はどうなのでしょう。
- ・ 刑生課長 カーテンの色で被害に遭いやすいなどという事は分かりかねますが、カーテンの厚さによっては被害状況が変わることも考えられます。  
薄手のカーテンであれば、薄暮時に室内の点灯状況が分かるので、外から照明が点いていないことが分かれば、犯人にとって家人が不在だと判断出来る材料になるので注意が必要となります。

#### 8 次回諮問事項

警察署の方から「生活安全対策」についてとの提案を受け、委員間で協議した結果、次回の諮問事項は「生活安全 特殊詐欺対策」に決定した。

#### 9 留置施設見学

- 森警察署留置施設内見学

留置施設内の各部屋、装備、設備などについて見学、説明を実施した。

#### 10 次回開催予定

令和5年12月ころで調整していく予定。